

2014年度事業報告書

法人の名称 **特定非営利活動法人 WE21 ジャパンこうほく**

1 事業の成果

リユース・リサイクル事業において、昨年を上回る事業高(107.7%)を上げ、大倉山店・日吉店共に前年以上の顧客数を獲得しました。

民際協力事業では、収益と寄付募金から1,911,934円を海外4カ国6事業と東日本大震災復興支援への支援金にすることができました。(内訳:収益から1,424,750円、店頭募金・寄付金487,184円)

7月、アジアアフリカの農村開発リーダー養成専門学校であるアジア学院(在栃木県那須塩原)を運営委員8名が訪問し、研修の一端を体験しました。海外事業の現地視察のため、11月にフィリピン(コーヒーの森事業)、2月にカンボジア(児童労働防止事業)とインド(農村女性自立支援事業)を訪問しました。

認定NPO法人として認められました。会報とHPによる広報も安定的に行われました。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

ア ショップ事業 大倉山店

- ・内 容 リサイクルショップ運営
- ・日 時 通年 営業日数 276日
- ・場 所 横浜市港北区大豆戸町60-1
- ・従事者人員 マネージャー3人 ボランティア延べ736人
- ・受益対象者 周辺住民 主に港北区南部・鶴見区
- ・寄付件数 2,992件
- ・事業高 9,273,015円
- ・布ぞうり教室の実施(5回)やリメイク作品展への参加でリメイク活動を促進、ガラス陶器のリサイクルなど環境事業も行った。

イ ショップ事業 日吉店

- ・内 容 リサイクルショップ運営
- ・日 時 通年 営業日数 276日
- ・場 所 横浜市港北区日吉2-12-7
- ・従事者人員 マネージャー3人 ボランティア延べ729人
- ・受益対象者 周辺住民 主に港北区南部・鶴見区
- ・寄付件数 1,930件
- ・事業高 7,801,347円
- ・布ぞうり工房の開催(月2回)に加えて編み物を中心とする活動(月1回)を行い、リメイク作品展への参加、ガラス陶器のリサイクルなど環境事業も行った。

② アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業 総事業費 2,158,171円

ア 農村地域女性の自立支援を目的とする DRCSC の既存プロジェクトの追加活動事業

- ・実施団体 インドNGO DRCSC(Development Research Communication and Services Centre)
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
インド西ベンガル州の南24パルガナス県(パトールプロティマ地区)及びハウラー県(バグナン地区)両地域合わせて10村30の自助グループ、計およそ400人

- ・助成額 310,000 円
- ・プロジェクトの概要

貧しい農村地域の女性たちが、自らの権利を知り、生活向上に関わる知識や技術を身につけ、健康的に暮らせるために、様々な研修の機会を提供する。食物の栄養価や保健衛生に関するものから、種子の保存、インド政府が進めるスキームの理解促進など多岐にわたった。地域によっては女性たちの自立の成果もみえている。

イ タナオコミュンにおける子どもの人身売買・児童労働防止事業

- ・実施団体 認定NPO法人 国際子ども権利センター(シーライツ)
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
カンボジアスバイリエン州コンボンロー郡タナオコミュン 11 村の子ども、教員、及び子どもたちの親
- ・助成額 494,813 円 (収益金から 350,000 円、貧困なくそうキャンペーンでの売り上げ 134,750 円、同期間中の店頭募金 10,063 円)
- ・プロジェクトの概要
ベトナム国境に近いタナオコミュンにおいて、児童労働や人身売買の被害から子どもたちを守るべく、子どもたちとその親双方に子どもの権利と教育の重要性について啓蒙活動を行う。被害にあった子どもが再び学校に戻れるよう支援を行う。5 カ年計画の初年度。昨年度末に完成したコミュニティーセンターは地域住民とシーライツで共同運営され、子どもも大人も集える場として活用されている。

ウ タナオコミュンにおける生計向上支援によるエンパワーメント事業

- ・実施団体 カンボジアNGO CAE(The Center for Actions towards Equality)
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
カンボジアスバイリエン州コンボンロー郡タナオコミュン 11 村の子どもたち及びその親
- ・助成額 100,000 円
- ・プロジェクトの概要
前項イで述べた事業の推進に地域住民の生計の安定は不可欠である。地域で育った農民代表(キーファーマー)たちにより結成された農業組合が十分に機能し地域住民の生活向上につながるべく支援する。住民の組織化、人材育成、行政や外部組織とのネットワーク構築を行う。組合内での貸付業務や農業センター建設着工などが実現した。

エ コーヒーの森づくり-アグロフォレストリー栽培による災害に強いコミュニティーづくり

- ・実施団体 フィリピンNGO コーディリエラ・グリーン・ネットワーク(CGN)
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
フィリピンコーディリエラ山岳地方ベンゲット州ツブライ郡アンバサダー村コロス集落(26 世帯)
- ・助成額 400,000 円
- ・プロジェクトの概要
台風被害により森林が失われた地域に現金収入となる作物を混栽することで、森林再生・防災・生活向上の実現を目指している。ベンゲット州バギオ市を中心に活動する NGO・CGNと共同で、アグロフォレストリーモデル農場の拡大、植樹地のメンテナンスを行った。コーヒー豆を収穫できた受益者も現れ始めている。

オ 先住民族への地域ヘルスケアプロジェクト計画

- ・実施団体 シュントック財団

- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
フィリピンベンゲット州カパンガン郡サグボ地区ビリング村・アンボゴット村及びガダン地区ナモンアオ村・コピアス村
- ・助成額 20,000 円
- ・プロジェクトの概要
先住民族の暮らすベンゲット州山岳地帯にはライフラインが十分届いているとは言い難く、その中で病気の予防と母子健康促進のプログラムとして始まったプロジェクトが、代替保健技能の伝播や組織強化活動につながり今日に至っている。住民組織ダイヨコンが他組織エンアオとスパコナへと指導を横に広げる形で進め、シュントック財団が全体のコーディネーターを務める。組織の成熟が確認された。次年度で最終となる。

カ チョコ募金キャンペーンを通じたイラク・シリア・福島支援

- ・実施団体 NPO法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
イラクにおける小児がんの子どもたち、シリア難民妊産婦、福島の子どもたち
- ・助成額 345,920 円 (チョコ募金キャンペーン 300,000 円、店頭募金 45,920 円)
- ・プロジェクトの概要
イラクの小児がんの子どもたちへの医療支援、イラクに逃れてきたシリア難民の妊産婦や子どもを守る活動、福島の子どもたちを放射能から守る活動を行っている。混迷を極めるエリアで活動が困難な中、医薬品の搬入や支援コーディネートを行った。

キ 東日本大震災復興支援

- ・実施団体 NPO法人日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
福島の子どもたち
- ・助成額 111,443 円
- ・プロジェクトの概要
福島の子どもたちのストレス解消、積算線量を減らすための活動を行っている。福島に暮らす子どもの保養・検診、放射能の「見える化」を実施した。

ク 横浜山北リフレッシュプログラム

- ・実施団体 福島子ども・こらっせ神奈川
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
檜葉町の子どもたち
- ・助成額 29,758 円 (収益から 10,000 円、店頭募金 19,758 円)
- ・プロジェクトの概要
福島に暮らす子どもたちが放射能を気にすることなく野外で存分に活動できる機会を提供している。2014年8月6日～10日に檜葉町の小・中学生を神奈川県に招いた。

ケ ふくしまの子どもたちの心身のリフレッシュ事業

- ・実施団体 NPO法人福島支援・人と文化ネットワーク
- ・プロジェクトの対象となる地域及び人々
福島のこどもたち
- ・助成額 100,000 円
- ・プロジェクトの概要
福島圏外で実施されるリフレッシュプログラムには参加できない低年齢時や障がい児のために、福島県内でリフレッシュプログラムを実施し、子どもたちの感性や創造力を養う。

コ フェアトレード品の販売による支援（金額は仕入れ額）

・ジンジャーティー	フィリピンベトナムベトナム州ウハパス・ダイコン・ランパダ	86,600円
・カピタコ・コーヒー	フィリピンCGN	105,756円
・オリーブ石鹸	パレスチナ・アシーラ女性組合	53,881円
	計	246,237円

③ 地域住民の国際的な意識の自覚を促進する事業

5/22（木） 15時～16時15分 港北公会堂会会議室	総会記念講座 「インド西ベンガルの女性の自立を支援して」	岡田真帆（運営委員）	40名
10/2（木） 10時半～12時半 日吉店	貧困なくそうキャンペーン事前学習会 「カンボジアの子どもたちに笑顔を」～カンボジアの貧困とシーライツの活動～	甲斐田万智子さん （シーライツ代表）	13名
12/8（月） 10～12時 日吉店	JIM-NET 報告会	佐藤真紀さん （JIM-NET 事務局長）	20名
12/15（月）13時半～15時 2/4（水）10時半～12時半 日吉店 1/26（月）大倉山店ボランティアミーティング	コーヒーの森事業モニタリング報告会	門永さつき （運営委員）	3名 8名 12名
2/17（火） 9時～11時 日吉店	支援先検討会		15名
3/19（木） 10時～12時 大倉山店 15時～17時 日吉店	カンボジア・インドモニタリング報告会	砂田正子（運営委員） 長久保幹子（運営委員）	10名 19名

④ この法人の事業の広報普及を図る事業

ア 会報の発行

6月(111号)、9月(112号)、12月(113号)、3月(114号)の計4回会報を発行し、同時にホームページにも掲載した。

イ ホームページの運営

デザイン変更やセキュリティ対策を施しながら、安定した運営を行った。

⑤ 組織活動

ア 地域との交流

- ・らくらく市 5月11日（日） 菊名地区センター前庭
- ・ふるさと港北ふれあいまつり 10月18日（土） 新横浜駅前公園
- ・日吉フェスタ 11月1日（土）慶応大学日吉キャンパス内
- ・小さな町の小さな平和展 3月9日（月）～13日（金） ギャラリーかれん
- ・のんびるフェスタ 2月23日（月）大倉山周辺

イ その他

特定非営利活動法人の認定に取り組み、2015年3月6日付で認定された。